

令和2年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	7	議席 番号	9	氏名	植 松 健 一 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1				新型コロナウイルス感染症を考慮した複合災害対策について	<p>新型コロナウイルス感染症のパンデミックが発生し、世界中で多くの方が感染し、また多くの方が亡くなっている。世界的に見ると今後まだまだ感染は広がって行きそうな気配もあるが、現時点での日本における感染者数、それによる死亡者数は他国と比較して少ない方であり、ある程度収束できていると感じられる。しかしそれはまだ完全なものではなく、第2波、第3波も予想され予断を許さない状況であることには変わりはない。今後、世界中が新型コロナウイルスとは永く隣り合わせの生活を送らなければならないことが予想され、アフターコロナ・ウィズコロナの新しい生活様式を実践し、定着させていかなければならないと感じる。しかしそんな中であっても豪雨や地震などの自然災害もまたいつでも起きる可能性はあり発生が懸念される。今後、自治体としての危機管理の上でそれらが重なる「複合災害」への備えをしていくことが急務であると考えている。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前のマスク及び消毒液の備蓄と感染拡大後の備蓄等の使用状況、さらに今後の複合災害を考えた備蓄をどのようにしていくか。</p> <p>(2) 市立病院における新型コロナウイルス感染症に対応した物資・資材の備蓄をどのようにしていくか。</p> <p>(3) 今後、感染症についての検査所及び専門病棟を常設する必要性についてどのように考えているか。</p> <p>(4) 災害時避難の在り方の再考について。</p> <p>① 災害発生時の避難、及び被害確認について。</p> <p>② 避難行動中及び避難所内のソーシャルディスタンスについて。</p> <p>③ 在宅避難の必要性について。</p> <p>④ 避難場所・避難所の確保について。</p> <p>⑤ 避難所の備蓄について。</p> <p>⑥ 避難所の運営スタッフについて。</p> <p>⑦ 避難所の衛生管理の専門性の必要性について。</p> <p>⑧ 市民への周知について。</p> <p>(5) 防災訓練の在り方の再考について。</p>	市長 副市長 病院長 関係部長